

日本地衣学会 ニュースレター

No.146

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次 会務報告	545
日本地衣学会第16回大会（高知大学，2017年7月15-16日）報告／ 松井 透	545

会務報告 *Reports of the JSL Activities*

日本地衣学会第16回大会（高知大学，2017年7月15-16日）報告

Report of the JSL 16th Annual Meeting at Kochi University, 15-16 July 2017 / by MATSUI Tohru

>>>>>> 松井 透：第16回大会実行委員長，高知大学

日本地衣学会第16回大会を2017年7月15日と16日の2日間，高知大学理工学部（高知県高知市朝倉）にて，以下の要領で開催いたしましたので報告します。

* * *

日本地衣学会第16回大会（高知）

- ・日時：2017年7月15日（土），16日（日）
- ・場所：高知大学理工学部情報科学棟
- ・参加者：31名（一般会員24名，学生会員2名，他5名）

* * *

7月15日（土）

10:00-12:00 評議員会

14:00-15:00 総会

15:15-15:30 特別企画「高知大学朝倉キャンパスの地衣類」

16:00-18:00 講演会「土佐の自然」

[L1] 吉倉紳一（放送大学）：高知県の地質-付加体と

蛇紋岩メランジュ-

[L2] 石川慎吾（高知大学）：高知の極相林と特殊岩石地の植生

[L3] 谷地森秀二（四国自然史科学研究センター）：土佐の動物-哺乳類を中心に-

18:30- 懇親会（高知大学生協カフェテリア）

7月16日（日）

10:00-12:00 一般講演

[1] °Min-Hye Jeong, Sook Young Park, Seol-Hwa Jang, Chan-Ho Park and Jae-Seoun Hur (Korean Lichen Research Institute, Suncheon National University): *Agrobacterium tumefaciens*-mediated transformation of lichen-forming fungus *Cladonia borealis*

[2] °原光二郎¹・近藤博暉¹・川上寛子¹・山本好和²・小峰正史¹（¹秋田県立大学・生物資源科学部，²大阪市立自然史博物館）：*Usnea rubrotincta* 培養地衣菌のポリケタイド合成酵素遺伝子の解析

[3] 中島啓光（電気通信大学・共通教育部）：オオキコケ

の蛍光強度の対する銅汚染および銅添加の影響

- [4] ○河崎衣美¹・松井敏也² (¹ 奈良県立橿原考古学研究所, ² 筑波大学・世界遺産専攻) : 顕微赤外分光法による石造文化遺産着生地衣類の成分分布-カンボジア・アンコール遺跡の地衣類について-
- [5] ○山口遼¹・川上寛子¹・小峰正史¹・山本好和^{1,2}・原光二郎¹ (¹ 秋田県立大院・生物資源, ² 大阪市立自然史博物館) : 培養地衣菌 *Chaenotheca brunneola* の生産するメラニン産生阻害成分 (1)
- [6] ○川上寛子¹・山口遼¹・鈴木千尋¹・岡嶋亮介¹・原光二郎¹・小峰正史¹・山本好和^{1,2} (¹ 秋田県大・生物資源, ² 大阪市立自然史博物館) : 培養地衣菌が産生する抗菌活性成分の探索と分析
- [7] ○木下薫¹・木原淳¹・吉川裕子²・原田浩³ (¹ 明治薬科大学, ² 千葉県立中央博物館共同研究員, ³ 千葉県立中央博物館) : LC/MS 分析による地衣類含有成分の同定と地衣類分類への応用~*Lecanora* sp.と *Xanthoria* spp.を中心として~

12:00-13:00 昼食

13:00-14:00 一般講演

- [8] 原田浩 (千葉県立中央博物館) : 最近見つかった変な痂状地衣数種
- [9] ○坂井広人¹・小澤武雄²・坂田歩美³・原田浩⁴ (¹ 栃木県立博物館, ² 栃木県宇都宮市, ³ 千葉県立中央博物館共同研究員, ⁴ 千葉県立中央博物館) : 栃木県産地衣類に関する新知見
- [10] ○坂田歩美¹・原田浩² (¹ 千葉県立中央博物館共同研究員, ² 千葉県立中央博物館) : 日本産樹皮着生キゴウゴケ属 *Opogon* (ソバカスゴケ目リトマスゴケ科) 地衣類の分類学的研究
- [11] ○小杉真貴子¹・矢野充啓¹・植竹淳²・小池裕幸¹・諏訪裕一¹ (¹ 中央大学, ² 国立極地研究所 (現コロラド州立大学)) : 氷河周辺に生育す

る微細光合成生物の生理学的特性と他生物との共生関係について

14:15-14:45 特別講演

[S1] 吉村庸 (服部植物研究所) : セスジアンチゴケとその近縁種

* * *

2002年2月17日、高知学園短期大学で日本地衣学会設立総会が開催され、本学会がスタートいたしました。そして今回、同じ高知の地で大会をはじめて開催することとなりました。

1日目は評議員会、総会、講演会、懇親会が行われました。総会では2016年度事業報告や2017年度事業計画等の報告・審議が行われました。詳細は別途報告があると思います。本大会は、例年と比較して一般講演数がやや少なかったこともあり、のんびりとしたスケジュールとなりました。そこで急遽、休憩時間を利用して「高知大学朝倉キャンパスの地衣類」という特別企画を行いました。構想2日、準備1日というやつけ仕事のため「コフキチリナリア」の写真ばかりになってしまいましたが、突然のことにもかかわらず快く協力して下さいました千葉県立中央博物館の原田浩先生に分かりやすく解説していただきました。



図1. 講演会の様子.



図2. 懇親会の様子.



図3. 懇親会後に記念撮影.

講演会は「土佐の自然」と題し、高知県の地質・植物・動物について、第一線でご活躍されている3人の先生方にお話しいただきました。放送大学高知学習センターの吉倉紳一先生には、そもそも日本列島や四国の成り立ちから詳しく説明していただきました。高知大学理学部の石川慎吾先生には、高知県、特に今回の「青空地衣教室」でフィールドとなる工石山の植物について、美しい写真とともにお話しいただきました。そして四国自然史科学研究センターの谷地森秀二先生には、高知県を代表する哺乳類についての貴重な画像とともに、その生態を楽しく紹介いただきました。

夕方からの懇親会は、高知大学生協のカフェテリアで開催いたしました。高知と言えば「カツオのたたき」ですが、今回は最近流行している「カツオの塩たたき」も合わせて準備。また、この時期しか味わえない限定醸造の特別な地酒も堪能していただけたものと思います。

2日目は一般講演と特別講演が行われました。一般講演では形質転換、遺伝子解析、分類、生態など、とても幅広い分野から11件の発表がありました。講演要旨は「Lichenology」誌の次号に掲載されると思いますので、そちらを参照して下さい。特別講演は、本学会初代会長で服部植物研究所の吉村庸先生による



図4. 一般講演の様子.



図5. 講演される吉村庸先生.



図6. 吉村庸先生とともに。

「セスジアンチゴケとその近縁種」を行っていただきました。吉村先生は、近年の地衣類分類学に対する苦言とともに、先人の業績についての精査、評価、再検討という最も基本的な事項をおろそかにしないように、と力説されました。科学の原点にあらためて立ち返ることの重要性を心に刻み、本大会を終了いたしました。

最後に、本大会の開催に当たりご協力をいただきました高知大学工学部生物科学科の皆様、土佐生物学会の皆様に厚くお礼申し上げます。



著者（大会実行委員長）

●複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 102号 378 ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 102, p. 378 of this publication.

● *Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 146, pp. 545-548; eds. Nakashima H., Bando M., Kawakami H. & Harada H., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 17 Dec. 2017.

日本地衣学会ニュースレター 146号

発行日：2017年 12月 17日

編集：中嶋裕之・坂東誠・川上寛子・原田浩

発行者・発行所：日本地衣学会

〒658-8558神戸市東灘区本山北町4-19-1

神戸薬科大学 薬化学研究室

©2017日本地衣学会 (© 2017 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。